

『地域を愛する益津の子』の姿

◎ 12/8「地域防災訓練」での東中生の活躍

☆「防災クイズ」で防災意識を高める

防災訓練に集まったたくさんの地域の方々に前にして、クイズ形式や意見交換を通して、防災知識を確認し合い防災意識を高め合おうと頑張る姿を見て、『中学生がこんなに積極的に地域防災に取り組む姿勢を示してくれて安心感を与えられました。本当にうれしい』という声を多くの参加者の皆さんから聴きました。



☆「中学生が主役」の訓練実施

訓練の内容や方法を中学生が実演を交えて分かり易く説明し、地域の皆さんが真剣に訓練に取り組んでいました。事前に練習を重ね、自信を持って堂々と取り組む東中生が輝いてみえました。



中学生を前面に立てて頂いた防災委員の皆様方に感謝致します。

◎12/16 第2回「益津っ子を語る会」の実施

☆「益津っ子」とふれ合う楽しさ

C・S活動推進に取り組んでいる皆様方に集まっていただき、活動の中で見受けた「益津っ子の輝く姿」や「ふれあう活動」の楽しさ・今後の期待などを、小グループで話し合いました。



☆「みんなで“益津っ子”を育てよう」

「素敵な“益津っ子”のあらわれ」がたくさん出されました。「さらに素敵な“益津っ子”への期待」も示されました。いずれも東益津地域の将来をになう子どもたちへの温かく厳しい言葉です。子どもを中心にすえた「地域づくり」への熱い想いです。



☆「成果と課題」を広く広げ、参加者をふやしたい

子どもたちの活動に、保護者の皆さんがたくさん参加していただくことを喜ぶ声がありました。家や教室の中とは違った、子どもたちの生き生きとした活動の姿を現場で見ることで、C・S活動の価値を見つけ、口コミで広げ合って頂きたいと願っています。

活動を推進している皆さんの高齢化が進んでいます。少しずつ次世代にバトンをつなげていく必要も訴えられました。



生徒会の呼びかけにたくさんの東中生が参加したり、地域活動団体の企画に子ども会・中学生サポーター・保護者が一緒に参加したり、たった一人の参加者を三人の観光案内人さんが支援してくれたり、C・S活動は多様な可能性を示しています。